



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月31日

上場会社名 住友重機械工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6302 URL <http://www.shi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 別川 俊介  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 佐藤 常芳 (TEL) 03-6737-2331  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月8日 配当支払開始予定日 平成28年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	317,828	△1.5	18,620	1.4	18,238	8.5	13,102	14.3
28年3月期第2四半期	322,517	5.3	18,372	△7.9	16,815	△15.9	11,458	△6.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △5,244百万円(△151.0%) 28年3月期第2四半期 10,272百万円(57.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	21.38	—
28年3月期第2四半期	18.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	729,927	371,996	50.2
28年3月期	782,859	382,817	48.1

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 366,304百万円 28年3月期 376,619百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.00	—	9.00	16.00
29年3月期	—	7.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	660,000	△5.8	43,000	△15.0	40,000	△18.6	26,000	△21.5	42.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期2Q	614,527,405株	28年3月期	614,527,405株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,702,542株	28年3月期	1,647,819株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期2Q	612,855,233株	28年3月期2Q	612,973,689株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9
4. 補足情報	10
(1) セグメント別受注高・売上高及び営業損益・受注残高	10
(2) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におけるわが国経済は、円高が進行したことによる企業収益の下押し圧力などで景気の停滞感が持続しております。個人消費は雇用・所得環境の改善が継続するも株価低迷による資産効果の減衰などにより緩やかな回復に止まり、企業の設備投資については老朽化や人手不足を背景にした更新投資や省力化投資への底堅さは維持していますが全般的に慎重姿勢がみられます。海外では、米国経済は個人消費が底堅く推移し企業業績も回復の兆しが見られ景気回復が持続していますが、欧州経済は緩やかな景気回復が持続しているものの英国のEU離脱問題を受け先行き不透明感が拭えません。中国経済は公共投資による下支えがみられるものの民間企業が過剰債務・過剰設備を抱え民間投資の減速は継続しています。その他新興国では資源価格の下げ止まりや通貨安定などにより経済状況に改善がみられました。世界経済全体としては緩やかな減速が持続している中で米欧での政治的な混乱のリスクや中国経済失速のリスクなどを抱え不透明感の強い状態が継続しています。

この結果、受注高につきましては、環境・プラントの部門を除く全部門で減少し、前年同期比6%減の3,366億円となりました。売上高につきましては、産業機械、船舶及び環境・プラントの部門で増加したものの、他の部門で減少し、前年同期比1%減の3,178億円となりました。

損益面では、精密機械及び建設機械の部門が減少したものの、他の部門が増加し、営業利益は前年同期比1%増の186億円、経常利益は前年同期比8%増の182億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比14%増の131億円となりました。

各部門別の状況は、以下のとおりであります。

#### ① 機械コンポーネント部門

国内において減・変速機の大型、中型機種在市況がやや軟調に推移し、また欧州等の海外においても大型機種の市況低迷が継続したことから受注、売上ともに前年同期に比べ減少しました。この結果、受注高は507億円(前年同期比6%減)、売上高は489億円(前年同期比7%減)、営業利益は41億円となりました。

#### ② 精密機械部門

プラスチック加工機械につきましては、欧州市場が堅調に推移したものの中国他でのIT関連投資が一巡し需要が減少したことから受注、売上ともに前年同期に比べ減少しました。その他機種につきましては、半導体関連機種の受注が前年同期に比べ減少したものの売上は増加しました。この結果、受注高は728億円(前年同期比3%減)、売上高は696億円(前年同期比8%減)、営業利益は72億円となりました。

#### ③ 建設機械部門

油圧ショベル事業につきましては、中国での需要は下げ止まりつつあるものの国内及び北米での需要減などにより、受注が前年同期に比べ減少しました。建設用クレーン事業につきましては、北米市場の低迷が長期化していることから売上が前年同期に比べ減少しました。この結果、受注高は802億円(前年同期比14%減)、売上高は888億円(前年同期比10%減)、営業損失は7億円となりました。

#### ④ 産業機械部門

運搬機械事業において三菱重工業株式会社の搬送システム事業を承継したこと等による増加があったものの、産業機器事業において医療関連の受注が減少したことなどから、前年同期に比べ受注は減少しました。売上につきましては、運搬機械事業と産業機器事業の工事が順調に推移したことから前年同期に比べ増加しました。この結果、受注高は前年同期並みの473億円、売上高は475億円(前年同期比36%増)、営業利益は45億円となりました。

#### ⑤ 船舶部門

船舶事業につきましては、前年同期は2隻の新造船の受注がありましたが当期は市況低迷や円高進行により新造船の受注はありませんでした。また引渡しにつきましては前年同期においては1隻でありましたが、当期は2隻の引渡しでありました。この結果、受注高は79億円(前年同期比58%減)、売上高は148億円(前年同期比14%増)、営業利益は6億円となりました。

⑥ 環境・プラント部門

エネルギープラント事業につきましては、国内最大級のバイオマス発電設備の受注や大規模な灰処理設備の受注があったことから前年同期に比べ受注が増加しました。水処理プラント事業は、大規模改修工事等の案件がなかったことから前年同期に比べ受注が減少しました。この結果、受注高は740億円(前年同期比17%増)、売上高は444億円(前年同期比4%増)、営業利益は21億円となりました。

⑦ その他部門

受注高は38億円(前年同期比14%減)、売上高は38億円(前年同期比32%減)、営業利益は9億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末(平成28年9月30日)における総資産は、前連結会計年度末と比べて受取手形及び売掛金が273億円、有形固定資産が60億円、現金及び預金が52億円、有価証券が50億円、それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末比529億円減の7,299億円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金が151億円、有利子負債残高が130億円、それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末比421億円減の3,579億円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が210億円減少したことなどにより、前連結会計年度末比108億円減の3,720億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比2.1ポイント増の50.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動による資金の増加は178億円(前年同期は78億円の資金の減少)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益182億円、売上債権の減少額203億円です。支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額99億円、法人税等の支払額97億円です。

投資活動による資金の減少は101億円(前年同期は82億円の資金の減少)となりました。これは、主として固定資産の取得による支出104億円によるものです。

財務活動による資金の減少は137億円(前年同期は175億円の資金の減少)となりました。これは、主として借入金の返済による支出(借入による収入との純額)70億円、配当金の支払額55億円によるものです。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末比10億円増の586億円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月10日の決算短信で公表した平成29年3月期の連結業績予想を、以下の通り修正いたします。

(平成29年3月期 通期)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	700,000	47,000	44,500	28,000	45.69
今回発表予想(B)	660,000	43,000	40,000	26,000	42.43
増減額(B-A)	△40,000	△4,000	△4,500	△2,000	—
増減率(%)	△5.7	△8.5	△10.1	△7.1	—
(ご参考)前期実績	700,838	50,568	49,131	33,133	54.06

円高の進行による想定為替レートの変更に加えて、建設機械部門において市場の低迷が長期化していることから、売上高・営業利益・経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益に関し、平成28年5月10日に公表した平成29年3月期の連結業績予想を下方修正することといたします。

なお、第3四半期連結会計期間以降の主な為替レートは、1ドル=100円、1ユーロ=110円と想定しております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	65,804	60,616
受取手形及び売掛金	219,929	192,665
有価証券	5,000	—
たな卸資産	156,270	152,608
その他	47,673	45,755
貸倒引当金	△1,674	△2,758
流動資産合計	493,002	448,885
固定資産		
有形固定資産		
土地	108,285	107,710
その他(純額)	119,484	114,090
有形固定資産合計	227,769	221,800
無形固定資産		
その他	11,219	11,066
無形固定資産合計	11,219	11,066
投資その他の資産		
その他	55,239	54,153
貸倒引当金	△4,371	△5,977
投資その他の資産合計	50,868	48,177
固定資産合計	289,857	281,043
資産合計	782,859	729,927
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	142,304	127,240
短期借入金	42,708	34,198
1年内返済予定の長期借入金	7,300	3,040
保証工事引当金	9,092	8,849
その他の引当金	5,709	3,243
その他	87,806	79,754
流動負債合計	294,919	256,324
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	8,224	7,955
引当金	160	154
退職給付に係る負債	51,623	48,936
再評価に係る繰延税金負債	21,027	21,027
その他	14,089	13,536
固定負債合計	105,123	101,608
負債合計	400,042	357,931

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,872	30,872
資本剰余金	25,354	25,354
利益剰余金	265,588	273,174
自己株式	△861	△887
株主資本合計	320,953	328,513
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,355	2,357
繰延ヘッジ損益	△121	1,901
土地再評価差額金	41,481	41,481
為替換算調整勘定	21,558	511
退職給付に係る調整累計額	△9,607	△8,458
その他の包括利益累計額合計	55,667	37,791
非支配株主持分	6,197	5,692
純資産合計	382,817	371,996
負債純資産合計	782,859	729,927

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	322,517	317,828
売上原価	249,553	244,886
売上総利益	72,965	72,941
販売費及び一般管理費	54,593	54,321
営業利益	18,372	18,620
営業外収益		
受取利息	249	214
受取配当金	381	537
持分法による投資利益	1,002	952
その他	753	958
営業外収益合計	2,386	2,660
営業外費用		
支払利息	1,020	735
為替差損	356	304
その他	2,566	2,004
営業外費用合計	3,943	3,042
経常利益	16,815	18,238
特別損失		
減損損失	199	16
特別損失合計	199	16
税金等調整前四半期純利益	16,616	18,222
法人税等	5,827	5,402
四半期純利益	10,789	12,820
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△670	△282
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,458	13,102

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	10,789	12,820
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,874	2
繰延ヘッジ損益	211	2,049
土地再評価差額金	55	—
為替換算調整勘定	1,545	△21,236
退職給付に係る調整額	△454	1,144
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△23
その他の包括利益合計	△516	△18,064
四半期包括利益	10,272	△5,244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,887	△4,773
非支配株主に係る四半期包括利益	△614	△471

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) セグメント別受注高・売上高及び営業損益・受注残高

## ① 受注高

(単位：百万円)

セグメント	前年同四半期 (27/4 ~ 27/9)	当第2四半期 (28/4 ~ 28/9)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
機械コンポーネント	54,033	50,651	△3,382	△6.3
精密機械	75,013	72,754	△2,259	△3.0
建設機械	93,746	80,159	△13,587	△14.5
産業機械	47,532	47,304	△228	△0.5
船舶	18,599	7,896	△10,702	△57.5
環境・プラント	63,029	74,029	11,000	17.5
その他	4,389	3,786	△604	△13.8
合計	356,341	336,579	△19,762	△5.5

## ② 売上高及び営業損益

(単位：百万円)

セグメント	前年同四半期 (27/4 ~ 27/9)		当第2四半期 (28/4 ~ 28/9)		増減	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
機械コンポーネント	52,332	3,567	48,900	4,084	△3,432	516
精密機械	75,483	9,385	69,638	7,167	△5,845	△2,218
建設機械	98,342	2,205	88,796	△665	△9,545	△2,870
産業機械	34,945	2,601	47,514	4,534	12,569	1,933
船舶	13,003	△3	14,760	575	1,757	578
環境・プラント	42,737	△88	44,386	2,061	1,649	2,149
その他	5,675	736	3,833	881	△1,842	145
調整額	—	△31	—	△16	—	15
合計	322,517	18,372	317,828	18,620	△4,690	249

## ③ 受注残高

(単位：百万円)

セグメント	前期末 (28.3.31)	当第2四半期末 (28.9.30)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
機械コンポーネント	25,864	27,615	1,751	6.8
精密機械	44,512	47,628	3,116	7.0
建設機械	27,657	19,020	△8,637	△31.2
産業機械	115,095	114,885	△210	△0.2
船舶	58,557	51,693	△6,864	△11.7
環境・プラント	109,672	139,315	29,643	27.0
その他	1,939	1,892	△47	△2.4
合計	383,296	402,048	18,751	4.9

当社のセグメント区分は、以下のとおりであります。

事業区分	主要製品
機械コンポーネント	減・変速機、モータ
精密機械	プラスチック加工機械、フィルム加工機械、半導体製造装置、レーザ加工システム、極低温冷凍機、精密位置決め装置、精密鍛造品、制御システム装置、防衛装備品、工作機械
建設機械	油圧ショベル、建設用クレーン、道路機械
産業機械	加速器、医療機械器具、鍛造プレス、運搬荷役機械、物流システム、駐車場システム、タービン、ポンプ
船舶	船舶
環境・プラント	自家発電設備、ボイラ、産業廃棄物処理設備、大気汚染防止装置、水処理装置、プロセス装置、反応容器、攪拌槽、空調設備、食品製造機械

(2) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 (27/4～27/9)	当第2四半期 (28/4～28/9)	増減
税金等調整前四半期純利益	16,616	18,222	1,606
減価償却費	9,556	9,976	420
売上債権の増減額(△は増加)	8,797	20,293	11,497
たな卸資産の増減額(△は増加)	△17,206	△9,924	7,282
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,846	△6,624	2,222
法人税等の支払額	△10,928	△9,664	1,264
その他	△5,760	△4,508	1,252
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,772	17,771	25,543
固定資産の取得による支出	△9,973	△10,414	△441
その他	1,817	303	△1,515
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,156	△10,112	△1,956
借入金等の増減額(△は減少)	△12,249	△6,979	5,270
配当金の支払額	△4,290	△5,509	△1,218
その他	△986	△1,178	△192
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,526	△13,666	3,860
その他	802	△3,985	△4,786
現金及び現金同等物の期首残高	90,324	68,625	△21,699
現金及び現金同等物の四半期末残高	57,672	58,634	962